2017年4月吉日

会員各位

**ＪＳＣＡ東京実務者研修「技術講座」**

# **テーマ：「過酷な地震動に対する制振構造による備え（その３）」**

　　　　　　　　　　　講師：早稲田大学創造理工学部教授　曽田五月也　先生

共催 日本建築構造技術者協会JSCA東京（JSCA）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 東京構造設計事務所協会（ASDO）

皆様

新年度を迎えて皆様におかれましては、様々に新しい気持ちで日々を送られていることと存じます。早稲田大学教授曽田五月也先生を講師にお迎えして、昨年10月から全4回シリーズの予定でスタートした研修会の第3回目のご案内をさせて頂きます。

曽田先生はご存知のように長年に渡って制振構造の研究を続けておられます。このシリーズでは曽田先生のこれまでの研究成果を通して、近年地震のたびに観測されている従来の知見を超える大きな地震動をどのように捉え、対処した設計をすべきかについてご講演をお願いしています。

前回は、木造住宅も含めた比較的小規模な建築物の免震化・制振化を推進するために、これまで厳密には評価されることのなかった低層建物の高精度な復元力特性の構築に関するお話をして頂きました。今回はその理論に基づいた日常の実務に活かせる有意義で身近な技術を学び、考えるお話をして頂く予定です。

会場予約の関係で開催予定日間際のお知らせになってしまい申し訳ありませんが、万障お繰り合わせの上、皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

曽田五月也先生よりのメッセージ

前回に引き続き高精度な復元力特性モデルを用いた多くの解析より、耐震安全性評価は地震力と建物の抵抗力との比較によるのではなく、地震により建物に入力されるエネルギーと建物がその変形に応じて吸収できるエネルギーとの比較によるべきであるというのが耐震計算の基本であることを明らかにする。次いで、建物内でエネルギーを吸収する仕組みとして開発してきた種々の装置（ダンパ）を紹介する。

記

テーマ：「過酷な地震動に対する制振構造による備え（その3）」

 日時　： 2017年4月24日　(月)　受付：17：30より

　　場所　：研修会　日大理工学部駿河台校舎1号館　2階　121会議室

　　プログラム： 司会 　市村隆幸（親交設計代表）

18:00～18:05　　趣旨説明　 金田勝徳（構造計画プラス・ワン）

18:05～19:35　　講演　曽田五月也先生（早稲田大学教授）

19:35～20:00　　質疑応答

会　費　： 会　員／￥1,500　　　非会員（一般）／￥2,000　　　学生会員・一般学生／￥500

定　員　： 100名

**ＪＳＣＡ東京実務者研修「技術講座」**

**「過酷な地震動に対する制振構造による備え（その3）」**

**申 込 方 法**

　　1. 申 込 期 間 　：2017年4月20日(木)まで（定員になり次第締切）

2. 会費納入方法　：当日受付にてお支払いください。

　　　　　　　　　　　　　※お釣りのないようにお願いいたします。

　　3. 参　 加　 票　：4月21日(金)までにＥメールにて配信いたします。

申込先　：一般社団法人日本建築構造技術者協会　関東甲信越支部

メールまたはＦＡＸにてお申し込み願います。

**E-mail　jsca-tyo@jsca.or.jp**　　 FAX 03-3262-8486

JSCA会員　　**・**　　非会員　・　学生会員/一般学生

フリガナ：

参加者名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　JSCA会員番号：

勤務先または学校名：

連絡先ＴＥＬ：　　　　　　　　　　　　　　　　　ＦＡＸ：

Ｅ-mail：

 ※メールでお申し込みの場合は、件名に**「過酷な地震動に対する制振構造による備え（その3）」申込み** と明記して下さい。

JSCA建築構造士登録更新のための評価点申請中

建築ＣＰＤ情報提供制度対象講習会申請中

JSCA建築構造士の方は、登録証を当日必ずご持参のうえ受付にてご提示ください。